

埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network
埼玉グリーン購入ネットワークニュース
第 22 号 2019 年 3 月

～環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める
首都圏初の地域ネットワーク～

埼玉GPN NEWS 2019.3



所沢市長 藤本 正人氏

「未来の子供たちに誇れる「善きふるさと」 ところざわを」

所沢市長 藤本 正人氏

埼玉 GPN 星野会長が所沢市役所を訪問し、藤本市長からお話を伺いました。



所沢市の取組について語る藤本市長

星野：所沢市は、日本経済新聞による「サステイナブル度・SDGs 先進度調査」で、環境部門で全国一位と評価されました。現在の取組を教えてください。

藤本市長：8年前、東日本大震災、原発事故を経験し、「自然への畏怖」「社会システムの脆弱さ」を感じ、「自分には何ができるのか」、「人間にとっての幸せは何

か」を考えました。その思いを形にしたのが、2014年3月に策定した「まちごとエコタウン所沢構想」です。

この構想は、「エネルギー」「みどり」「資源循環」で構成され、自然と調和した生き方、絆を実感できる社会の実現を目指しています。

まず一つ目のエネルギーです。最終的な目標は、所沢市が再生可能エネルギーによって自立することだと考えています。道のりは長いものですが、その一歩として、メガソーラやフロートソーラーの建設、太陽光発電設備や燃料電池・蓄電池・エコカー等への補助を行っています。また、昨年5月には地域新電力会社である「株式会社ところざわ未来電力」を立ち上げました。この3月にはEVパッカー車も導入しております。

「みどり」では、里山保全地域の指定や、相続等によって消えてしまうみどりの公有地化などを進めています。日本経済新聞社の調査では、「みどり」に関する指標が少ないのですが、私自身は、武蔵野のみどりをまもるこういった取組が「所沢らしさ」ではないかと感じているところです。

「資源循環」では、雑誌や古着古布を資源として新たに回収したり、食品ロスゼロのまち協力店を増やしたりしています。

星野：今後の所沢市の取組を教えてください。

藤本市長：31年度は、従来からの住宅リフォーム補

CONTENTS

- トップインタビュー 所沢市長 藤本 正人氏 1
- 会員企業訪問・見学会を開催 2
- パリクラブ21埼玉より 3
- 埼玉 GPN セミナーを開催「企業戦略としてのSDGsの可能性」 3
- 埼玉 GPN × GPN「グリーン購入大賞受賞団体訪問・見学会」 3
- (GPN) 持続可能な調達アクションプログラム 4
- 会員一覧 4



所沢市の魅力について語る藤本市長

助金を、エコリフォームに限定させ、住宅の断熱性能を高め、省エネ化を推進します。また、いわゆるソーラシェアリングに対する補助金も創設します。

「みどり」の分野では、「生物多様性ところざわ戦略」の32年度策定をめざし、検討を進めます。子どもたちにホタルやミヤタナゴ、カブトムシがいる川や里山を残していきます。

また、昨年12月、昨今の海洋プラスチックごみ問題に対応するため、マチごとプラスチックごみを削減する宣言をしました。31年度は、市内の事業者さんや市民の皆さんなど、協力いただける方を増やしていきます。

本年2月には、埼玉県内で初めて、「世界首長誓約／日本」にも署名いたしました。世界の動きにも目を向けながら、気候変動の課題に取り組んでいきます。

今回、図らずも環境部門で1位という評価をいただきました。市民の皆さん、子どもたちが、所沢に住んでよかったと思える、自ら環境の取組を実践してくれる、そんなまちにしていきたいと考えています。

会員企業訪問・見学会を開催

11月9日(金)、参加者12人で会員企業の「株式会社シール堂印刷 埼玉事業所」へ訪問し、「首都圏外郭放水路」を見学しました。

(株)シール堂印刷は、世界が認めた研究開発力と、シールを知り尽くしたプロの提案力、そして質の高い付加価値賞品を生む製品製造力に加え、持続可能な社会を実現するための環境力をもって事業を展開しています。



横沢氏 事業説明の様子

事業所を所長の横沢良宏様自らにご案内いただき、ISO14001取得を機に環境配慮型の事業展開に至った経緯や、エコ検定取得をきっかけに人脈が広がり、バナナペーパーやSDGsの取組に繋がっていったことなど、環境活動と経営を統合的に進めている事業方針について話を伺うことができました。



(株)シール堂印刷埼玉事業所前で集合写真

続いて首都圏外郭放水路を見学しました。当該施設は国道16号の地下約50メートルに建設された延長6.3キロメートルの地下放水路で、流域の浸水被害を解消・軽減し、安全で良好な生活環境を創造しています。



調圧水槽見学の様子

平成14年の部分通水からこれまで、110回を超える洪水調節実績があり、過去最大流入量を記録した平成27年9月の台風17・18号では、約1,900万立方メートルの洪水調節を行い、浸水に悩む流域の被害を減らすことができたとのことです。



調圧水槽にて集合写真

パリクラブ21 埼玉より

パリクラブ21 埼玉では、12月1日(土)に芝浦工業大学大宮キャンパスにて開催された「第9回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉」に共催し、展示会や分科会等へ積極的に参加しました。



展示会の様子

会員の(株)シール堂印刷、東京ガス(株)埼玉支社も参加し、学生や企業、環境団体等延べ445人が環境



分科会の様子

について議論を交わしました。パリクラブ21 埼玉では引き続き、世代や業種を超えた情報交換・交流の場を設けていきたいと思っています。

また、仕事帰り等に気楽に立ち寄れる学習会として「イブニング・パリクラブ」を計6回開催しました。今年度はSDGsをテーマに企業の取組や海外の事例を紹介しました。毎回会員ニーズに合わせたテーマを設定し、少人数でアットホームな勉強会となりました。

埼玉GPNセミナーを開催 「企業戦略としてのSDGsの可能性」

2月26日(火)、埼玉経済同友会共催のもと埼玉GPNセミナーを開催し、53名の参加を得ました。

基調講演にはGPN理事であり(有)サステナブル・デザイン研究所代表取締役の西原弘氏から、「SDGsは経営イノベーションの絶好の機会です!!」と題して講演をいただき、サステナビリティを歴史的にひも解くとともに、SDGsの視点から経営に取り組む意義と必要性を論理的に説明いただきました。



西原氏 講演の様子

続いて、サラヤ(株)、埼玉りそな銀行、環境経済(株)から取組事例として、サラヤ(株)からは海外における自社製品をとおした支援による持続可能なビジネスの確立、りそなグループの全社員に対するSDGsの教育やSDGsに関連するコンサルや投資など、各社本業に沿った具体的な取組を紹介いただきました。参加者からも「いつから、どこから始めるか、答えが見つかった」や「時代に沿った企業努力に感銘を受けた」といったコメントをいただき、SDGsのこれからを考える有意義な時間となりました。

埼玉GPNとしても、今回は埼玉経済同友会と初めての連携事業となり、これまで以上の啓発効果が得られたと実感しています。引き続き、こういった連携を図りながら事業を展開していきたいと考えています。

埼玉GPN×GPN 「グリーン購入大賞受賞団体訪問・見学会」

3月11日(月)、第19回グリーン購入大賞・経済産業大臣賞を受賞したホットマン株式会社の川越工場及び青梅本社工場を訪問しました。

「1秒タオル」で有名なホットマン(株)は、2014年から国内初となる日本製フェアトレードコットンタオルの製造・販売を始め、身近な存在であるタオルをとおしてSDGsの達成に向けた取組を行っています。

当日は代表取締役社長の坂本将之様自ら工場や事業所内をご案内いただき、綿の特性からものづくりに対する思い、「いいモノを永く使う」といっ



乾燥工程見学の様子



シェニール織を説明する坂本社長

たグリーン購入の基本ともいえる“もったいない文化”について熱くご紹介いただきました。工場では乾燥工程や、ホットマンが誇るドイツの伝統織物「シェニール織」の職人技を間近で見ることができ、普段は何気なく使っているタオルの製造現場で、その惜しめない手間と企業努力を知ることができました。



青梅本社前で集合写真

(GPN) 持続可能な調達アクションプログラム

グリーン購入ネットワーク (GPN) は、2018年6月に持続可能な調達アクションプログラムの評価チェックリストを公表しました。

今日、SDGsにおける目標12「持続可能な消費と生産パターンの確立」や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における持続可能な調達の実施等、環境面だけではなく社会面にも配慮した調達を通じて持続可能な社会の構築につなげるための仕組みや取り組みが広がってきています。また、最終製品を生産する企業を中心に自社のサプライチェーンを上流に遡って、原材料調達における環境面の配慮や法令順守等の状況について調査・確認をする企業が増えてきています。

そのような中で、GPNは、主に中小企業を対象に、事業者が自社の取り組みと自社の製品・サービス、さらにはサプライチェーンにおける環境・社会面の取り

組みをセルフチェックする仕組みを検討し、評価チェックリストを策定しました。

回答した団体 (GPN 会員) には、フィードバックレポート (自社の回答結果と回答団体の平均点を示したレーダーチャート等の結果をまとめたもの) を提供しています。自社の環境・社会面の取り組み度や自社の課題を整理したい団体、SDGs等の取り組みに着手したい団体の方は是非ご回答ください。評価チェックリストのダウンロードや回答方法はGPNのホームページ (<http://www.gpn.jp/>) をご参照ください。

組みをセルフチェックする仕組みを検討し、評価チェックリストを策定しました。



埼玉GPN会員一覧

(株) アートドットコム、(株) アクセル、アピカ (株)、(株) アルク設計事務所、(株) イーシティ 埼玉、浦和レッドダイヤモンド、(株) エコ環境システム、大宮アルディー ジャ、(株) 関東パイプ技研、(株) 甲商、コクヨマーケティング (株) 埼玉支店、サイエンス (株)、埼玉県信用金庫、(株) 埼玉新聞社、埼玉トヨペット (株)、埼玉日産自動車 (株)、(社福) 埼玉福祉会、(株) 埼玉りそな銀行、サンケイ鋼器 (株)、(株) シール堂印刷、(株) ジャスト、(株) ジャパンアート、(株) 松柳園、大成ロテック (株)、(株) 太陽商工、(有) タカザワ企画、(株) タカヤマ、(株) テレビ埼玉、東京ガス (株) 埼玉支社、(株) 東京化成製作所、東京サラヤ (株) 北関東支店、(株) ハイクレ、(株) ハイディ日高、(有) パル埼玉、(株) ヒメプラ、(株) ビルテクノマイニチ、(株) ビルヒット、フォーレスト (株)、(株) ぶぎん地域経済研究所、富士ゼロックス埼玉 (株)、武州ガス (株)、(株) ベルエール、ポラス (株)、毎日興業 (株)、(株) 松永建設、(株) マツハ、マルキユー (株)、(株) 武蔵野銀行、望月印刷 (株)、(株) 与野フードセンター、リコージャパン (株) 埼玉支社、税理士法人レッドサポート、(株) ワーム、埼玉県、さいたま市、川口市、春日部市、日高市、NPO 法人 EEハーモニー、コープみらい、(一社) 埼玉県環境検査研究協会、(公財) 埼玉県公園緑地協会、(公財) 埼玉県産業振興公社、埼玉県中小企業団体中央会、(一社) 埼玉県トラック協会、(公財) さいたま市産業創造財団、さいたま商工会議所、埼玉県商工会連合会、埼玉中小企業家同友会 ※順不同

■ 入会案内

団体会員、サポーター (個人会員) があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

【事務局】〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5-3F
TEL.048-749-1217 / FAX.048-749-1218
E-mail goto@kannet-sai.org
Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>

このニュースレターは、GPN-GL14「印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。

